

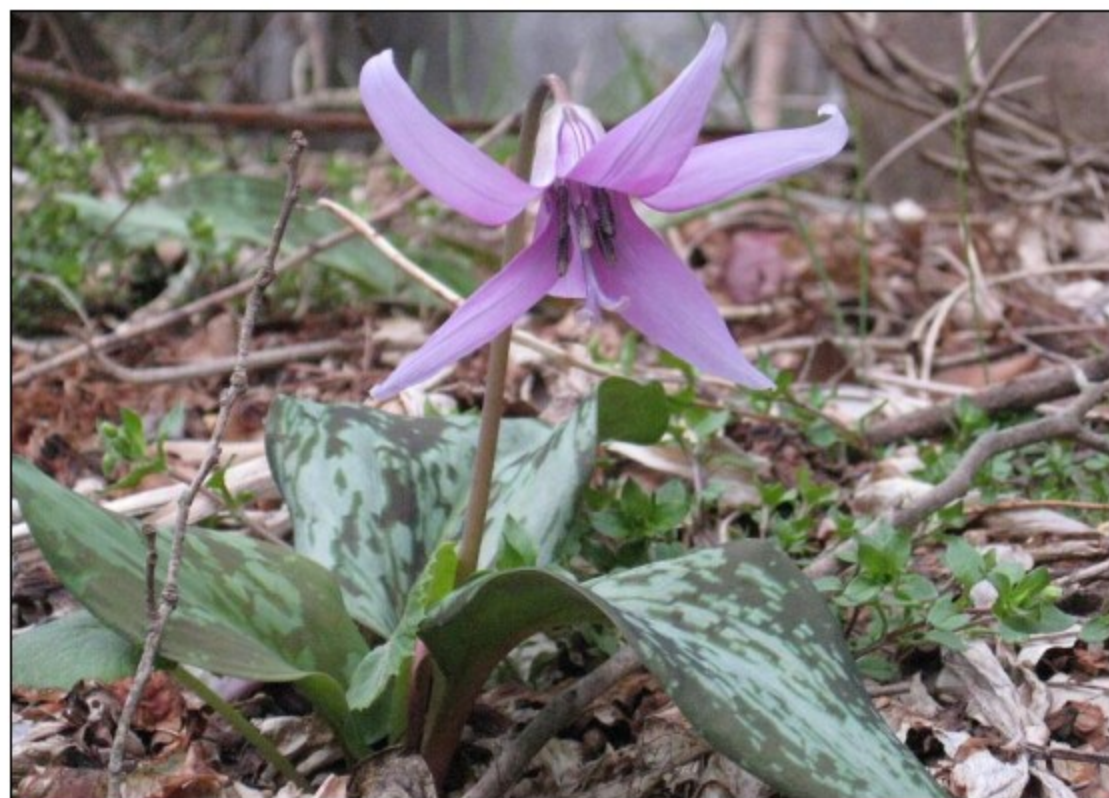


琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第48号



■ カタクリの花 奥多摩町海沢

祝 開苑三十四周年

夢の人生と人生の目的

介護支援専門員 佐々木健児

「人間五十年 化天の内をくらぶれば 夢幻のごとくなり」織田信長が好んだ教養の一説で、人間の一生は、夢か幻のようだと、アツという間に過ぎ去る。ということだ。「四十九年 一睡の夢 一期の榮華 一盃の酒」上杉謙信 戦功を競った一生も、一眠りする間の夢のようだ。天下に名を馳せた一代の榮華も、一杯の酒ほどの楽しみでしかなかった。共に四十九歳でこの世を去った。自分も今年の四月に五十歳を迎えた。人生を振り返ると夢のようにアツという間に過ぎて行ったような気がします。生きがいは何か、人生の目的を持って生活してきたのか、何事も深く考えては来ませんでした。

三月十一日に東北・北関東に未曾有の大震災が発生しました。父の実家が宮城県石巻市にあり従兄弟が生活しています。その従兄弟がこんなことを言っていました。「がんばろうと皆に言われるけど、災害から二ヶ月経っても山のようにある瓦礫があり、その瓦礫を片付けた後から遺体が発見され、毎日線香たてに行っている今の自分に何を頑張ればいいのかわからない」安易に「頑張ろう」という言葉を使っても心に響かない言葉になってしまっています。頑張るとは、困難に耐え、努力してやり過ごすこと。困難に耐えている人に尚も耐えて努力してと、言うのもむなし響きになってしまふのかもしれない。

施設で生活している利用者には「頑張って」とりハビリの場面や生活の場面をつい口に出してしまうくなる言葉です。施設職員は頑張っている利用者の心に触れてやさしく包み込み、言葉ではなく態度で寄り添って欲しいと思います。

施設利用者に夢を持ってもらい人生が楽しくなったと思ってもらえることを目的とした人生を送ることも夢のような人生の目的になる様になります。

平成22年度琴清苑事業報告 - 決算報告 (抜粋)

総括

平成22年度は、「社会福祉施設等の耐震化促進事業」における耐震改修工事を施工、利用者が安心して生活できる施設として万全を期すことが出来ました。また、前年度に引き続き介護職員処遇改善交付金事業の受給申請を行い、介護職員に手当として支給を行うとともに、職員間の公平感を保つ為、全職員に対し手当を支給し、職員の待遇改善に努めました。

処遇面においては、職員の努力により年間の施設利用率98.59%、平均要介護度4.17と、年頭に目標として掲げた目標値、利用率98%・要介護度4の実績を残すことができました。職員の利用者に対する柔軟な対応は大きく評価したいところです。また、非常勤医師の雇用により週2回づつの勤務・当直の契約を行い医療体制の強化を図ることができました。今後は上記の数値を維持・継続していくことが必要であると考えています。

さらには、利用者の快適な生活を目標に、第三者評価の受審、職員の資質の向上、リスクマネジメント問題、苦情処理体制の充実、サービスの質の向上、身体拘束廃止の徹底、ホームページ・広報誌による情報公開の充実に積極的に取り組み、成果を挙げました。

なお、各部門については以下のとおり実施しました。

※ 詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録	
資産・負債の内訳	琴清苑
I 資産の部	***
1. 流動資産	***
流動資産合計	297,754,322
2. 固定資産	***
固定資産合計	474,665,705
資産合計	772,420,027
II 負債の部	***
1. 流動負債	***
流動負債合計	137,466,583
2. 固定負債	***
固定負債合計	26,699,876
負債合計	164,166,459
差引純資産	608,253,568

貸借対照表		
	琴清苑会計	
	借方	貸方
流動資産	297,754,322	
固定資産	474,665,705	
資産の部合計	772,420,027	
流動負債		137,466,583
固定負債		26,699,876
負債の部合計		164,166,459
基本金		201,587,727
国庫補助金等特別積立金		89,151,723
その他の積立金等		177,400,000
次期繰越活動収支差額		140,114,118
純財産の部		608,253,568
負債・純財産の部合計		772,420,027

収支計算書	
勘定科目	琴清苑会計
経常活動収入計①	371,964,172
経常活動支出計②	374,844,344
経常活動資金収支差額③(①-②)	-2,880,172
施設整備等収入計④	59,000,000
施設整備等支出計⑤	78,420,825
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	-19,420,825
財務活動等収入⑦	42,703,014
財務活動等支出⑧	47,400,000
財務活動等資金収支差額⑨(⑦-⑧)	-4,696,986
当期資金収支差額合計⑩(③+⑥+⑨)	-26,997,993
前期末支払資金残高⑪	187,285,722
当期末支払資金残高⑫(⑩+⑪)	160,287,739

事業活動計算書	
勘定科目	琴清苑会計
事業活動収入計①	375,301,200
事業活動支出計②	389,090,040
事業活動収支差額③(①-②)	-13,788,840
事業活動外収入計④	3,242,571
事業活動外支出計⑤	2,001,096
事業活動外収支差額⑥(④-⑤)	1,241,475
経常収支差額⑦(③+⑥)	-12,547,365
特別収入計⑧	91,590,000
特別支出計⑨	58,073,057
特別収支差額⑩(⑧-⑨)	33,516,943
当期活動収支差額⑪(⑦+⑩)	20,969,578
前期繰越活動収支差額⑫	156,431,526
当期末繰越活動収支差額⑬=⑪+⑫	177,401,104
基本金取崩額⑭	0
基本金組入額⑮	0
その他の積立金取崩額⑯	10,113,014
その他の積立金繰入額⑰	47,400,000
次期繰越活動収支差額⑱(⑬+⑭-⑮-⑯-⑰)	140,114,118



《社会福祉法人双葉会 【中・長期計画】》

I 目標

この計画は「保育・介護サービス・医療事業」の三位一体を具現展開できるような財政基盤を確立していくことを第一主眼とする。

また、地域住民の少子・高齢化が進み、保育園児の減少、高齢者の要介護者が増加していることから、地域のニーズを分析し、そのニーズに応えられるようサービスを検討していくことを目標とする。

1 介護福祉施設

利用者が終の棲家として、安心して生活できるよう、人権尊重を基本とし、個々のニーズにあったサービス提供やプライバシーに配慮した住環境を見直し、整備することを推進する。

2 保育所

経営の効率化を図り、少子化の中更なる保育サービスの充実を図る。

3 診療所

患者に信頼される経営を展開するため、当直医師の確保、設備・組織体制の充実強化を推進する。

※ この計画は3年ごとに見直しを行うものとする。ただし、関係法令の改定、介護報酬の改定があった場合はこの限りではない。

II 中長期計画の内容

1 経営基盤の確立

- (1) 利用稼働率の向上
- (2) コストの削減とコスト意識の徹底
- (3) 人材の育成

2 特別養護老人ホーム琴清苑の全面改築

- (1) 資金計画（自己財源の確保）

3 地域ニーズの把握

【以上 抜粋】



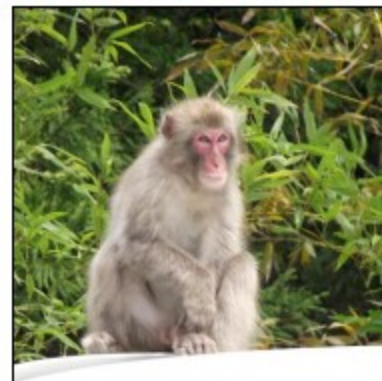
花祭り

例年通り、4月8日お釈迦様の誕生日をお祝いして、花祭り（灌仏会）が行われました。

参加された利用者の皆様は、嬉しそうに優しい笑顔で、お釈迦様へ甘茶を掛けておられました。その後、「甘いね」、「美味しいね」などと話されながら、職員と一緒に甘茶を頂きました。



琴清苑に猿が!!



と琴清苑は、住所は東京都
 田舎にすむのが、山々
 になつて、野
 まなだに、遊
 きたる猿が、
 動物園に、来

お花見

平成23年4月18日
 (月) 奥多摩湖畔にて
 お花見を実施しました。
 インフルエンザ予防な
 どの影響があり、本
 りに久しぶりの外出とな
 りました。あいにくの
 曇天ではありましたが、
 満開のソメイヨシノや
 ミツバツツジを背景に、
 記念撮影を行い、皆さ
 ん日頃あまり見られな
 いような、まさに満開
 の笑顔で応えて頂くこ
 とが出来ました。花を
 見ながら、紅茶とお菓
 子を頂かれ、帰路にお
 子多摩湖を上方から見
 ながら帰苑致しました。

東日本大震災に伴う影響で、電気の供給能力が不足しています。施設におきましても、ピーク期間・時間帯における使用最大電力を15%削減することが求められております。照明や電気機器の停止などで、利用者及びご家族の方々にはご不便をお掛けしますが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

地震想定による
防災訓練



食中毒予防の話

琴清苑医師 柚木 雅至

今年の冬は、ノロウィルスによる下痢症が流行し、5月には腸管出血性大腸菌O111が付着した生肉による食中毒で死者が発生し、大きく報道されました。これから夏にかけて食中毒が発生しやすい季節となりますので、今回は食中毒予防の話をして頂きます。

食中毒予防の3原則は、食中毒菌を①付けない②増やさない③殺菌する、ということです。台所はなるべく清潔にして細菌が繁殖しにくい状況を保ち、手や、まな板、包丁、布きん等の調理器具、食品に食中毒菌を付けない気配りが必要です（見た目のきれいさよりも衛生的であることが大切）。細菌が繁殖していきそうなものに触れた場合は、次の食品に触れる前に洗いなおす気配りが必要でしょう。手に傷がある場合はそこにブドウ球菌が繁殖している可能性がありますので、手袋をしたほうが安全でしょう。

多くの食中毒菌は75℃以上1分以上の加熱で死滅しますが、これはあくまで中心部までしっかりと熱が通っていることが前提です。電子レンジによる加熱でも、しっかりとまんべんなく中まで加熱できていれば大丈夫ですが、電子レンジの場合は加熱が不均一になりやすく、一部が加熱不良の場合があるので注意が必要です。十分に加熱すればすべての食中毒が防げるかという、答えはNo.です。ブドウ球菌などの一部の食中毒菌は、菌が産生する毒素が食中毒を引き起こしますが、この毒素は熱に強いので、すでに多量の毒素が産生された後であれば、加熱してブドウ球菌が死滅してもこの毒素は残りますので、食中毒症状が出現します。またウェルシュ菌やセレウス菌などの芽胞は100℃の加熱でも死滅しません。給食などでカレーなどを大量に作って放置すると、その中に生き残った芽胞から細菌が繁殖し、それを食べることで食中毒が発生することがあります。つまり長く放置されたものは加熱しても100%安全とは言えない、また一度加熱しても長く放置すれば安全とはいえないということです。生で食べるものは、流水で十分良く洗ってすぐに食べる。加熱するものはなるべく早く加熱して放置せずにすぐに食べる。余ったものはすぐに冷蔵あるいは冷凍して保存する。冷蔵庫から出して食べる時は、また十分に加熱してから食べる等の注意が必要です。


◆ 編集後記 ◆
いつも楽しみにしている茨城の友人から今年もメロンが届きました。震災や原発の事故の影響で、農家は厳しい状況にさらされていますが、頑張り続けている人達を心で応援しながらも美味しく頂きました。メロンには友人の笑顔が浮かんでいました。

◆ 編集後記 ◆

介護補助
指圧 杉山 初
奥多摩 幸仕 会

4月 調布市 1名
6月 奥多摩町 1名
6月 杉並区 1名

《ポランティア状況》
平成二十三年四月～六月
(敬称略)



《入死された利用者》
平成二十三年四月～六月

7月12日	盆供養
7月13日	迎え火
7月16日	送り火
8月5日	流し盆踊り
8月17日	敬老感謝祭
9月25日	彼岸法要

行事予定

